

子どもの「依存」する心理

～「依存」のキーワードで、「子どものこころ」を理解しよう～
胎児期から児童期までのこころの動きを参加者とともに考える

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日～2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 間：2021年6月2日(水)・4日(金)・5日(土)・6日(日)・12日(土)

のいずれかのご希望日 ※第三希望まで、必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および
興味のある方々

定 員：各回 50名

(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください。先着順となります。)

受講料：6,000円(税込み)

配信方法：『Cisco Webex』を使用し、配信

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

講師 渡辺 登 先生 赤坂診療所所長、医学博士、精神保健指定医、産業医

精神医学の立場では、依存は人間が生まれつき持っている、こころの安心や肉体の満足を求める行為である。赤ん坊であれ、学生であれ、主婦であれ、職員であれ、経営者であれ、私たちは組織や他人との関係に依存せずに生き延びることは不可能である。

依存を悪いものとは決めつけられない。私たちは家族や所属する集団での信頼できる仲間と、ほどよく依存し合うことで、自分の進むべき道を歩んでいる。周囲の人びとと支え合いながら、自分の行動を支配されず、主体的に決められることが自立である。

適切な依存は、生き延びるために不可欠である。発達段階にふさわしい依存であれば、「よい依存」として認めるべきである。よい依存はつぎの発達段階へ成長していくのに欠かせないからである。

本講座では、胎児期から児童期までの発達段階での子どもの依存する心理を、対人関係の観点から紹介したい。

≪ 赤坂診療所所長 渡辺 登 ≫

【プログラム】

	時 間	テ ー マ
各 日	13:00～14:00	<オンライン講座①> 胎生期と新生児期
	14:10～15:10	<オンライン講座②> 乳児期初期
	15:20～16:20	<オンライン講座③> 新生児期後期と幼児期
	16:30～17:30	<オンライン講座④> 児童期

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。